

西区移動情報センター 相談事例紹介

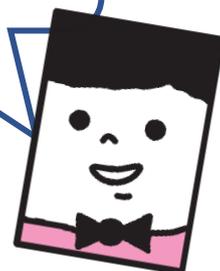
※ご相談の参考にご覧ください

移動情報センターにはこのような相談が
寄せられています。
些細なことでもお気軽にご連絡ください。

【西区移動情報センター】

☎045-620-5998(直通)

✉ido-nishi@yokohamashakyo.jp



① 知的（発達）障害のある方の“朝の通学付き添い”相談

息子が小学校の個別支援学級に通っていて、仕事の都合で月・水・金曜日の朝は家族が付き添うことが難しくなってしまったので、家から学校まで付き添ってもらえる方をお願いしたいです。



住まいの地域の民生委員や自治会へ相談し、近隣でガイドボランティア（付き添いボランティア）として協力してくれる方が見つかりました。地域の協力を得て、数名で曜日を分担して付き添ってもらっています。最初は人見知りをして、お母さんから離れられませんでした。徐々にガイドボランティアにも慣れて、楽しそうに登校しています。



② 肢体不自由の方の“通学付き添い”相談

足にマヒがある娘のことで相談なんです…。小学校までは近いので、補装具を付けて歩いて通っているんですが、不安定なところもあって…。荷物が重いときには持ってもらったり、よろめいた時には支えてもらったり、見守って付き添ってもらえる方をお願いできませんか。



ご本人宅の近くに住んでおり、西区社会福祉協議会として個別につながりのある方に相談し、そのお友達で協力してくれる方が見つかりました。ガイドボランティアが荷物を持って、安全に気を配りつつ、お話ししながら教室まで送っていただいています。

ガイドボランティアとは…

移動情報センターに登録をして、視覚障害・肢体不自由・知的障害・精神障害のある方が、安心しておでかけできるように付き添い(ガイド)をしてくれるボランティアです。

※ガイドボランティアの付き添いを希望される方は支援対象者の登録をいただきます。

観光ガイドのボランティアではないのでお間違えなく！裏面にも続きます！





③ 重心（重度心身障害児者）の方の“車両サービス利用”相談

利用している放課後等デイサービスの送迎車が故障してしまって、直るまでの間車両のサービスを利用したいんですが、電話したUDタクシーは断られてしまって…。娘はバギーを使っていて、放課後等デイサービスから自宅までの送りをお願いできる事業所はありませんか。あと、タクシー券が使える所でお願いします。



バギーのサイズなどを確認の上、車両の支援を行っている事業所を調整がつかしました。タクシー券が使用できる介護タクシーが見つかり、約1ヶ月間の送迎をしてもらいました。

「ちょっと聞きたい」というお問い合わせだけでもお気軽に！



④ 視覚障害のある方への“買い物付き添い”相談

近所に住む友達が、視野がだんだん狭くなる病気で、一人で外出するのが難しくなってきたので、何か利用できるものはありますか。本人は一人で出かけるのは不安だけど、買い物やお散歩などを楽しみたいと言っているんです。

私は今までも一緒に買い物をしたりしているので、できることは協力したいと思っています。



一度窓口にお越しいただき、ご本人にはガイドボランティア支援対象者登録を、ご友人にはガイドボランティア登録をしてもらいました。ご本人にはガイドボランティアを利用して、買い物やお散歩を楽しんでいただいています。

お知り合い・お友だちとご一緒に登録もできます！



⑤ 記憶に障害のある方（精神障害）の“通院の付き添い”相談

高次脳機能障害で記憶障害があります。昔の記憶や慣れていることはあまり問題ないのですが、新しいことは忘れてしまいがちで、わからなくなって不安になると軽いつんかん発作で気分が悪くなってしまいます。通院は3か月に一度、都内の病院まで通っていて、以前に行き方がわからなくなって気持ち悪くなり、動けなくなってしまったことがあって…。一人での通院は自信がないので、付き添いをお願いしたいのですが…。



ご本人には担当の相談員がついていて、相談員の方とも情報を共有しながら、ガイドボランティアの調整を行いました。移動距離や活動時間が長くなるため、活動経験の長いガイドボランティアの方で無事に調整がつかしました。ガイドボランティアの同行があり、安心して通院していただいています。